

特別
子12
3643
75



大原御幸

一シテノ床几切戸又廻シ置 ッ床几地謡へ廻シ置

一離子方座付テ大ワラ家引廻シカケ後見ニ入テ持出大小前ニ置

房。シテ。内待。三人作り物ニ入テ出ル

内待ハシテノ右ノ方ニ着座敷珠右侍

シテハ中英ニ床几ニ腰掛ル珠数右侍

房ハシテ丸ノ方ニ着座敷珠数右侍 白紙袋前ニ置

房

一作リ物大小前へスエ置シテ善座直ニシテ床几ニカケル

一口半連名衆アリテ間ノ問答海テ幕へ入ッ見テ作り物ノ引廻シカロス

一終ニ成道ナルトカヤトシテ立出ル直ニ床几ヲ引

梅若誠太郎
昭和元年五月廿七日
梅若重戸氏
寄贈

後 會釈ニテ出

ニテ 右珠教九ニカゴ持 扇 右珠教九ニカゴ持

一 暫ク是ニ休ニ止ト聞テ出テ松ノ手前ニテ床几ニカレ

一 実ヤ君ニ至リトニテ床几ヨリ立直引

一 口キノ苗ニ居地ノ前ニ座付トワビ引

一 ニテ詔ノ前 沖物詔リト聞テ立正ニ豆出テ床几ニカレ

一 千ノの夜ニ入テトニテ床几ヨリ立直引

一 内待一念の窓の前ト切切ニテ手カゴ持作物ノ内ニ入置ニ右直ニ

不引 苗ノ双海テ後見取入ル

巴

ニテ 着流ニ女 扇 右持

前ニテ 會釈ニテ出舞臺ニ入ニテ柱ノ先ニテ為カレ詔出

○是ニ君ノ名ヲ今モト切切ニテ志中ニ行テ下ニ居ル時ニテ

後ニ行ヨリハヒラヒラニ引

後ニテ 葛桶 切有出 扇前ニテ 長刀 右有ニカギテ

一 セイ本哉聞テ幕上出ニテ柱ノ先ニテ開テ為モイ詔

○ 形もやく荒らぬやト北をミ出テテヨト身解ラ直ス

○ 命ハ義ニある理リト長カヲツキテニテ柱先ニテワグノ時出テ長カラ

受トルニテ扇ヲ奉テ持 ○ 惜まぬ者やあト切切ニ志中ニ行床几ニ

カレ・時ニ席几持出中ノ通テ一引テ掛サセテ後見座ニ引

○ 日ハむ月の夜をハトニテニテ後ニ行床几ニテカケ動カズ振

心付居ル ○ かくし所も自らト席几ヨリ立直ニ床几引テ後見座ニ引

○歌て御前を立上り見よ六歌の大勢トシテ柱、先へくわが来れ
・時ニ長カ持出シテ江渡ス。○今ハ是迄ナリト橋掛リヨリ舞臺正
入ヲニ長カヲ右ニ提テ捨ル。時ニシテ後ヨリ長カノ柄へキラケテ捨必
ヲ引後見座へ引。○所ハ是迄迎江あるトシテ立テシテ柱、先へくわが
左ノ袖ニ抱へ名太カヲ後見へ渡ス。時ニ出テシテ柱ノ先テ太カヲ立取テ
後見座へ引。○梨杓ヲ爲懼々同くトシテ自ラ爲懼々ヲ奉テ前へ置
カシ置シ是ハ直ニ石引爲ノ政スシテシテ柱ヲ越テヨリ取入ル也

阿漕

シテ着流ニ尉 水衣 着上ル

一墨繪扇 右後ヨリカス

一鈎竿 右着ゲル

前ニシテ一ロイ半越シテ幕上出舞臺江入シテ柱ノ先ニテ笛メロイ謡

一西物語史トシテシテ中江行下ニ居鈎竿右ニ置後見出テ装束
直ス竿ハ不引 一おハをむとんと正面先ニテ竿ヲ前へ捨ル其
中入 一ニシテシテ柱ヲ越テ後見竿ヲ取入ル

後ニシテ

水衣 着上

扇 右後ヨリカス

四半網 袖ニ着テ前持

シカケ

一出端不越一段支テ幕上正ラケテ出テ正向足爲海人のかつ謡
一浪ハ返ツテト綱ヲ左ノ方後口へ投捨ル 右直ニ不引 一多えうとヤトヤカト立
一牛みは返る夜の後トはヤ切ニ後見出テ綱ヲ取入ル 一多えうとヤトヤカト立

△浪ハ返ツト綱ヲ投テ引キ見テ其ニ下へ置テ

後見綱ヲ取入ル
前同トナリ

持

半部

唐織着流女

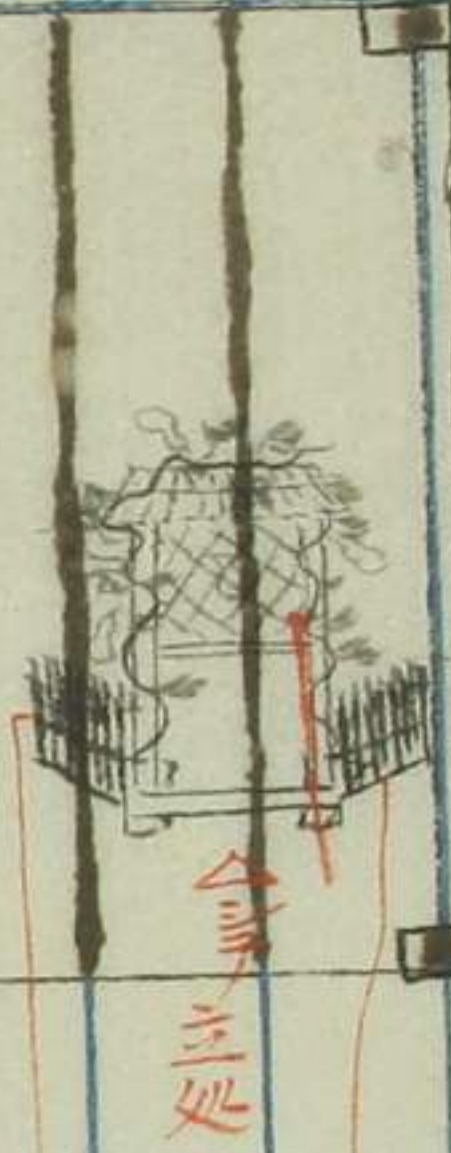
扇 右持

前

シテ會釈出テ出テ招テ正足笛半いともバト祝フ

一 志乃のふぬハト 臺舞入 常座ヲ足為 一 是ハ夕白の花にてト
 早向 一 初同ノ末ニ直ニ中入

間ノ語リ海ヲ直ニ 節ノ作物持出ニテ柱先定座へ置付ル
ツキ上ケノ竹ハ 功戸ヨリ出ス



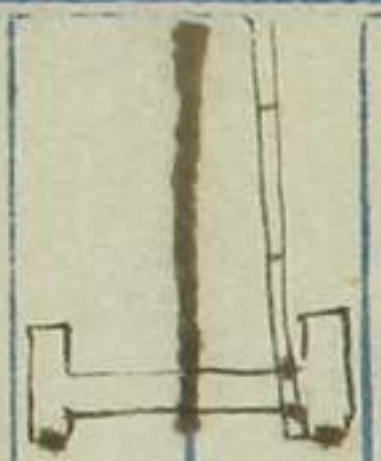
此ニテ柱ヨリニ文程先ノ作物ヲ
 合舞三处
 此ニテ柱ヨリニ文程先ノ作物ヲ
 此ニテ柱ヨリニ文程先ノ作物ヲ

右通作リ物出口ノ間ノ謡ニナル

後ニテ 一 セイ本城聞テ出舞臺入作物前ニテ足並ヲ謡出

一 ニテ出テ足並ヲ名時ツキテノ竹持出節ノ右方へ置
節ニ針ニ付 有之先ハハルニ

一 さくハと思ヒ夕白のトニテ 右手ヲツキ上ノ竹ハカケル 其時後見ツキ上ノ
 竹ノ下ヲ持居リ 一 草ノ半節押アケテト 節ヲ後見上ケル
 一 立出トニテ前へ出テ後見ツキ上ノ竹ノ下ヲ節ノ臺へアテ、魚置ク



一 舞ノ内ニ三段目ヲ置ク 此ニテ袖カギテ作物前へ下リ 節上
 入ルガニテ見テ 後見心ヲ付ベシ

一 又半節内ニテトニテ正面ヨリ作物へ入ル 其時後見ツキ上ノ竹ハ
 カケ居 一 其後後トゾトカイニ節ヲ置キ 掉ヲ目冬又松ニ早ク座へ

引 一 ニテワキ入テ作物幕へ引

仲光

一掛素袍 一着附厚板 一白大口

○太刀 間太刀持 一紋付腰帶 一小サ刀 一侍烏帽子

○ツ葛挿 切産り出 一神存 一素袍 袖へ元結ヲ付置

満仲 一凡折烏帽子 一着附白サ 一草狩衣 一草葎 一白骨扇

美女 一小結烏帽子 一長絹 一着附絳柏 一黒骨扇

幸寿 一放三髪 一着附又白 一児子袴 一黒骨扇

一稚子方座付ヲ見テ 満仲出 早座へ行 早正向床ル方ル 間太刀持供ラスル 同ク座付

一ニテ ツレノ座付ヲ見テ幕上 美女 幸寿 一ニテ

如此出 美女一松テ足笛正向 一ニテハ見斗橋カリテ足笛正向名乗

一名乗洲テ美女先ニテ舞臺へ入 一幸寿ハ名乗洲テ後見座へ多口

一ニテ美女ノ御ヨリ舞臺へ入定座リ少中出ツレ向 下座兩キヲツキテ 認出

一美女ハ舞臺へ入目付柱ノ前ヨリ少中入 着座ツレ向

一先ニ洲内へ入入ト聞テツレ 大小後見多口

一ニテ洲内へ入入ニテ後見座へ多口 以時ニ方太カラテ取ル

一ニテ 満仲 共ニ多口ギテ入替リニ 美女 幸寿又 笛座ノ方ヨリ出 美女

早座へ行 幸寿ハ地ノ上ニ着座正向

一ニテ 更ハ此年ニ替リ少中 子方ヲ立セ正へ着座サセテ直ニ地ノ前へ

多口 以時後見 太カラ持出ニテ後見 板掛素袍ノ袖ラ上テ元結ニテ結

其外心得道ヲ引

一我子ヲ後ト成ニケリト 子方ヲ切ル時 幸寿ハ早ノ切戸只入

一子方ヲ切リテ太カラ前へ捨ルニ其ニ取ラス 何方へも立退ルト 詭洲テ

立テ見送ル 後見ヲカラ引

砧

シテ着流シ女扇持

ツレ女日新

一ツ 離子方座付テ何変テ出脇座へ行着座 道行舟テ後見座へ行

前シテ 會釈ニテ出幕サレテ豆苗サシ謡出ル

一砧ヲウケテ糸ヲセムトト視テシテ後見座ヘクワギ物着又グ

一シテクワギト直ニ後見座ヲ作り物ヲ切戸ヨリ出シワキ座ノトト地頭ト

間ヘス置直テ引 一中入ニシテ幕ニ入ルト後見出テ作り物ヲ

正面先中通リヘス直ス但シテ作り物へ扇ヲ

ノセ置テ入ル後見其儀ス置直ヨリ間出ル

一間渡テワキ出ル正中ニテ待謡視テ謡泳テ

脇立テワキ座へ行ト後見出テ作り物ヲ引

切戸ヨリ入

以テ正カニテヨリ定程置直

中入ニシテ幕ヲ入りテ直

如以正キノ先へ作り物ヲ

スエ直ス

以テ正カニテヨリ定程置直

以テ正カニテヨリ定程置直

後シテ

一里頭

一白子持折

一扇懐中

一竹杖ツク

一出羽不越一段聞テ出テ柵テ足道謡出ル 去ナガラ秋ノ舞臺へ入

一かきくの巻物トト杖ヲ捨ル

一羊のあゆみ階孔約トト杖ヲ捨ル

笛之巻橋年慶

一シテ 色無着流女 一子方小結烏帽子長絹、白口、小ッカ

一扇持 一笛懐中スル 一ワキ 白大口、掛ヒタシ、侍烏帽子

一離子方地謡座附テ子方半若幕上出ル地ノ上へ行甲正ワキ着座

子方坐着座スル見テワキ幕上出シテ柱ノ先ニテ足歩テ名衆

名衆渡テ橋カリ人行幕へ向テ、いたちヤト云秋長ダ年リケトト聞テ

一シテ幕上何変テ出ル何秋長トヤカ謡ナカラ出ニ松辺リテ枕ニ

カル一後見柵床ルヲ幕キヲ引持出○は方へ来り上ト地テ掛セル
 一よりやまゝ新玉をこしラはき切ニテ立後見出テ床ルヲ引
 一白キノ赤ニシテきて能えれハトニテ笛ニ付ル紅修ラ板キテ早へ置ト
 後見出取入ル○右地落れ取テ取入テモ

土車

ニテ一直面 一放髪 一着附高履 一水衣 一大口

一飢較前ハツル 一色無存前ハツル

子方ハツル 着附縫箱 一兒袴 一黒骨扇

一口ハツル 着附着セリス海テ一セイニ成ト直○後見車ノ作り物本幕ニテ
 持出ニ橋掛リニ松トテ松ノ間へ橋長短ニ見申シ置附ル子方出ラ
 車ニ乗ル ○一善光寺ニモ着ニテリノト子方車ヨリフリニテ子方二人

舞臺入ト後見出 作り物ヲ引キ幕ヨリ入ル

○一内らと八とちもお捨て取リトニテニテ柱へ合キ後見出テかつカ
 取ニテノ装束ヲ直ス ○一ウリ留ニ出ラ装束ヲ直ス

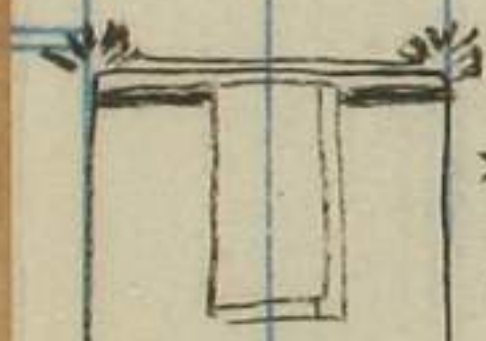
三輪

ニテ 色無着流シ女 一木葉左リ持 扇ハツル

一囃子方地謡座附ト後見ニ入ニテ作り物引廻シラカケテ持出大小ノ
 前ニ置付ル ○一水衣ヲ切戸ヨリ持出地謡ハ頼ニテワキへ渡ス度

○一秋座キ、窓のうらウクハき切ニ後見出テ木葉ヲ引

○一中入作物へ入 ○ニテ作物へ入ト直ニ後見出テ水衣ヲ内ヨリ作物
 外前面へ掛ル但引廻シノ紐ハケル
 衣ノ内ニ入スヲ前面へ出シテ掛ル



一 装束着替海テ床ル掛ル

一 後ニテ作物ノ内ヨリ己合ニテ程聞テ午早振ト凱出ル

一 女糞ト三輪ノ神ヲクモヨリニテ作物後ヨリ出ル

○ 一 内影何々見入テ引廻シラス 以時前掛衣モ一日ニテ

○ 一 曲留ニテ多ク装束直ス

○ 一 八百萬ノ神遊トニテ柱ヘクログ 後見出テ幣ヲ渡ス府夜

○ 一 神樂幣捨時又出テヘイ受取テ府ヲ渡ス

○ 一 留ニテロキト幕入ト後え出テ作物取入ル

